

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所



〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
TEL 0883-35-2784
ホームページ
<https://saikouji.tokushima.jp>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘



12月31日 大みそか
午後10時 護摩供
午後11時20分 除夜の鐘



吉武師によるご法話



記念法要



管長祝下のお言葉

特別伝道大会

開催さる

10月16日、徳島市あわぎんホールにて高野山真言四国地区特別伝道大会が開催されました。

高野山より葛西光義管長祝下を導師として迎え戒のお授けと直々に開眼供養された御守を記念品として賜りました。

また、本山布教師の吉武隆善師によるご法話では、お大師さまの示された修行法をわかり易くご教示いただきました。

テレビ等でご活躍される辛坊治郎氏の特別講演もあり、約七百数十名の檀信徒の皆さまは、「虚しく往きて実ちて帰る」が如く、笑顔で会場を後にされました。



辛坊治郎氏

令和2(二〇二〇)年 お寺の行事予定


1月28日(火) 星供開白
2月3日(月) 星供結願
6月20日(土) 弘法大師降誕会
(参与会定例会)

7月 大般若御祈祷
本町北(5日) 本町南(6日)
伊勢(第2日曜日・12日)
大次郎(未定・要相談)
森沢(土用入りの日・19日)

8月 初盆お参り
15日(土) 仏送り

10月21日(水) 弘法大師御影供
12月31日 納め護摩 午後10時〜
大晦日除夜の鐘

毎月 第1土曜(昼)写経
月2回水曜(夜)ご詠歌



守護御札について

ご本尊阿弥陀如来さまに
皆さまの家の安全、五穀
豊穰、息災延命等を祈願
した御札です。



○御札のまつり方

玄関(外でも中でも可)に、南向きか東向きに取り付けてください。家の中に魔が入り込むことを防いでくれます。押しピンではなく、テープを使用してください。何度も貼り直しが可能で、剥がした場所も傷まない、「マスキングテープ」をおススメ致します。取り付ける場所と御札に、お塩を振りかけてお清めしてから貼るとなおよいでしょう。

○古い御札について

御札の効果は一年間です。古くなったものは、ご参拝の節に、本堂前の「御札納め箱」にお納めください。お参りに伺うと、古い御札の上から、新しいものを貼る、「重ね貼り」を目にします。毎年、古い御札は剥がし、場所を清めてから新しい御札を取り付けてください。



ほしく 星供厄除祈願 受付します

1月20日締切

運勢の変わり目の節分に心身を一層清め、ひたすら皆さまの「息災延命」を祈る真言密教の秘法を星供(ほしく)といいます。

住職が1週間本堂に籠り、1日3座計21箇座の星供護摩を修し、誠心誠意、祈願致します。

詳細・申込は案内用紙をご覧くださいませ。





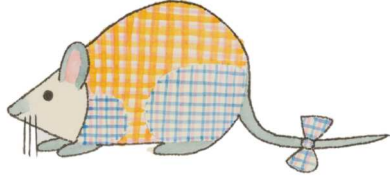
◎皆さまの生きるヒント
になれば幸いです。

- 『脳科学からみた「祈り」』
著者 中野 信子
出版社 潮出版社
定価 五七二円＋税
- 『住職という生き方』
著者 蟬丸P
出版社 星海社新書
定価 一、〇〇〇円＋税
- 『いくつからでも 脳は若がる』
著者 林 成之
出版社 宝島社
定価 一、二〇〇円＋税
- 『プロトレイル ランナーに学ぶ やり遂げる技術』
著者 鏑木 毅
出版社 実務教育出版
定価 一、四〇〇円＋税
- 『密教の生き方』
著者 中村 公昭
出版社 春秋社
定価 一、八〇〇円＋税

令和二(二〇二〇)年 年忌繰出表

ご法事(回忌法会)	ご逝去の年
一 周忌	令和 元年
三 回忌	平成 三十年
七 回忌	平成 二十六年
十三 回忌	平成 二十年
十七 回忌	平成 十六年
二十五 回忌	平成 八年
三十三 回忌	昭和 六十三年
五十 回忌	昭和 四十六年
六十一 回忌	昭和 三十五年

お仏壇のお位牌をお調べください。
ご法事をお申し込まれる際、土日祝は大変混みあいます。お早めに打合せのご連絡をお寺までくださりますよう、お願い申し上げます。



供養の話

ある檀家さまのご法事で教えてくださった話。

まだ言葉が話せない小さな男の子。寝つきが悪い時は、お母さんの耳たぶを触りにきて、プニプニとしているうちに安心して、スヤア…と寝てしまおうです。

不思議なことは、お母さんも小さい頃、祖父母の耳たぶプニプニで眠りについていったそうです。

耳たぶプニプニのことを教えていないのに、子供はそれを知っている。これは本当にすごいことではないでしょうか。

私たちの身体には、両親、祖父母、ご先祖さまの経験が蓄積されていることとなります。

このことは、少し恐ろしいことだと思えます。極端に考えると、人間の運動神経の継承や、野菜などの品種改良と似ているのかもしれない。

今の自分の生き方が、子供や孫へとつながっていく。これは先輩後輩、師匠と弟子の関係にも言えることです。良くも悪くも、周りと未来に影響を与えるのです。

ならば「今を生きる」のはとても責任があることです。清く正しく誇らしく仏さまのような生き方を心がけることが、未来への供養といえます。

先人の方の善い徳分が自分の中に眠っていて、それを呼び覚めます。ここにご法事のありがたさがあるとするれば、「亡き方の想い出話は供養になる」というのも納得です。私たちは、そこに意識をして手を合わせる事が出来ていられるでしょうか。



密教法具
『三鈷杵(さんごしよ)』

太陽がさんさんと照りつける7月の真夏日、小学3年生の生徒20名が社会見学の授業で西光寺に来られました。体操着に黄色い帽子、リュックを背負い、水筒を下げています。山門下の日陰で体育坐りをする子供たち。「このお寺には葉っぱが3本に分かれている珍しい松があるんですよ。お財布に入れたらお小遣いが増えるという言い伝えですよ。」と話をしました。

自由時間になり、子供たちは松の木にワーツと駆け寄って、一生懸命に松葉を探し始めました。一人の女の子がタツタツと駆け寄ってきます。松葉を1本つまんで、

「これでいい?」と。

「うんそれでいいよ。」

と応えるとニコツとして満面の笑みでカバンに大事にしまい込みます。次は、少しやんちゃそうな男の子が来ました。

「お坊さん、見て! めっちゃゲツトした!」

見ると、両手いっぱい松葉を乗せています。

「すごいでえ! ほなけど仏さまは欲張りせんのでよ。自分が持つとって嬉しいもんは、誰かにあげたら喜ばれるんじや。沢山あつたらな、誰かにあげてみない。」

「そうなんじや。ほな、お父さんとお母さん、姉ちゃんも弟、じいばあにもあげよつと。はい、先生にもあげるわ!」

「ありがとうね。」と先生が言うと、男の子は照れくさそうに笑います。

すると、見ていた他の子供たちも先生の所へきて

「先生僕のもどうぞ。」

「私のもどうぞ。」とやる。瞬く間に先生の両手は松の葉でいっぱいになりました。すかさず私は

「先生、これでお金もちですわね笑。」と冗談を言い、一緒に笑いました。

松の葉をもらった先生の心にも、男の子と真似をした子たち、私の心にも、なんだか暖かい花が咲いたようでした。周りの人が喜んでくれると嬉しい、という仏さまの心が私たちには生まれつき備わっているのですね。

働きのそのものです。心から相手のために動いた時あなたは成仏している、光り輝く仏さまとなっているのですよ、と。

後日、子供たちからお礼の手紙が届きました。

『お家に帰って松の葉をおばあちゃんにあげました。すると、お小遣いをくれました。おぼうさんのいっていたことは本当でした。』

「妙薬みよやく篋けつに盈みてども嘗なめずして益えきなし」

(どんなに優れた特効薬でも使わなければ意味がない。)とお大師さまは論ろんされます。

つまり、松葉を拾うだけではだめで、私たち誰もが持つ仏さまの宝(身・口・心)を周りに施してこそ功德がある。相手も自分も嬉しいという仏さまの世界に立ちかえって参りたいものです。



高野山壇上伽藍
根本大塔(左)と三鈷の松(右)
同様の松が西光寺境内にあります



会員募集中です。一度、ご見学ください。

般若心経 書の集い



〈開催〉

月1回 第1土曜日

午後1時30分より

2時間程度

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈参加費〉1千円／1回

〈講師〉

田村誠次(蒼空)先生

ご詠歌教室 歌ぼさつの会



〈開催〉

月2回 水曜夜

夏季 午後7時00分より

冬季 午後6時30分より

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈互助会費〉1千円／月

〈講師〉

住職 澤 善弘



特別講習(10月24日)

一唱懸命

声に出して詠む
ご詠歌

生かせいのち

作詞 新居 祐政

作曲 山本 智雲

一、東の空に日が上るころ

大いなるいのちを知ろう

大日の光を知ろう

みめぐみに包まれて

喜びと感謝の中に働こう

生かせいのち 生かせいのち

二、夕やけ雲に日が落ちるころ

自らのいのちを知ろう

み仏の智慧を知ろう

報恩の心もて

人びとの明日のために働こう

生かせいのち 生かせいのち



真言宗が説く四恩を紹介致します。※以下抜粋

『国王の恩』この国に生まれられたことの幸せです。

『親の恩』この世に生んでくださったことの幸せ命を繋いでくださったことへの感謝の心を言います。

『衆生の恩』あらゆる人々の手助けをいただけける幸せ。この世では決して自分一人では生きて行けません。例えば料理は自分で作れても、食材を提供してくださる方、鍋や釜を作る職人さんというように、あらゆる人々によって助けをいただけける幸せです。

『三宝の恩』「仏・法・僧」を三宝といい、正しい教えと道徳が示されていることで、その命が無限であることを、「恩」として自覚しようということです。

『密教の生き方』

中村公昭著より

四つのご恩のおかげで生かされている、という考え方を四恩(しおん)の教えと申します。

ニンジンの種は、大地の養分をはじめ、雨、太陽光、土の中の微生物、お世話をする農家の方々：沢山のみ恵みの働きを受けて育ちます。

ニンゲンも、目に見えるもの見えないもの、はかり知れないみ恵みに包まれて生かされている。このみ恵みのことを「大いなるいのち」、大日如来と呼び、崇敬します。左の人差指を右の掌でそっと包む智拳印は、そういうことなのです。

自らも四恩の一員、仏の子。報恩謝徳の心で人々のために働くことこそ生かせいのちなのです。



大日如来の印
『智拳印』

西光寺護持会

役員

順不同
敬称略

総代長 中井邦武
板東章智
安友勝明
川人芳正
川人秀世

役員の方々は、檀信徒代表としてお寺の護持のためにご尽力くださっております。
主な役割は、お寺の方針を話し合う、ご本尊さまの守護御札、ご法事の案内をお届けする、護持会お初穂を集めること等
お寺と檀信徒の皆さまのお世話を務めてくださっております。

会計

川人秀世 川人建介

世話人

板東久志 板東夏弥
新森秀明 須見友一
小山忠行 小山恒夫
中井和宏 藤川善昭
中井計延 金井 功
岡田俊武 岩城義人
平島義弘 枝澤安司
枝澤利幸 川人永治
原田忠幸 川人 忠
細川敬雄 森友利雄
森友卓司 渡部浩之
楠本福一 安友喜美子
田中照明 川人良亘
川人義朗 坂東博明
坂東忠一 香川保雄
田中敏文 佐藤有里
(ご退任)
佐藤一男 安友 勤
川人信人



高野山真言宗

参与会員

令和元年6月1日付

継続年数 入会順

29年 佐藤 一男
22年 板東 章智
13年 中井 邦武
13年 川人 秀世
13年 川人 建介
13年 榎原 浩二
13年 池本喜代子
10年 山岸惠美子
7年 山川 好信
7年 山川惠美子
7年 中井 和代
7年 芝 千鶴子
6年 木村 拓司
4年 山川 太郎
3年 安友 勝明
2年 佐藤 有里

参与会に入会 しませんか？

高野山真言宗参与会は弘法大師のみ教えを守り弘め、お大師さまの衆生救済のご誓願にお応えすることを目的とする信仰団体です。

参与会はいわば、弘法大師空海さまをお慕いするファンクラブです。

参与会に入会すると、『高野山教報』という新聞(ご法話や高野山の行事などの情報が満載)が毎月届きます。また、高野山参拝時の優待など、他にも会員特典を受けることができます。

西光寺では、年に1度定例会を開催し、親睦を深めております。



檀信徒の皆さまへ 護持会・初穂料 ご協力をお願い

『西光寺護持会』が発
足して以来、お寺の護持
営繕のために、檀信徒の
皆さまには毎年浄財を募
り、積立をさせていただ
いております。

檀家の皆さまには、護
持会費と初穂料の2種類
をお願いしております。

年末、世話人さまが各
家庭にご本尊さま守護の
お札を届けてくださりま
す。その際、世話人さま
を通じて護持会と初穂の
ご納入をお願いします。

世話人さま不在の地域
にお住いの場合、住職ま
でのご相談くださいますよ
うお願い申し上げます。

お寺とお仏壇 について

檀信徒の皆さまの各お
仏壇の中には、西光寺の
ご本尊阿弥陀如来さま、
弘法大師さまがお座りに
なられ、皆さまの息災延
命、家門繁栄、如意円満
先祖代々増進仏果などを
ご加護頂いております。
つまりお仏壇は菩提寺の
西光寺そのものです。

本堂にご鎮座なさるご
本尊阿弥陀如来さまは檀
信徒の皆さまをお導き下
さるお師匠さまです。ご
本尊諸仏が最大限におは
たらきくださりますよう
西光寺の護持営繕にご協
力賜われますよう、心よ
りお願い申し上げます。



護持会費の 使用目的

護持会費は、主に境内
及び本堂等の建築物の護
持・営繕のため、また12
年に1度の大法事及び涅槃
法要のために使用させ
ていただいております。
本堂は築360年、山門は
築180年を超え老朽化が進
んでおり、将来の為に積
立をさせていただいてお
ります。 8千円/年

初穂料の 使用目的

初穂料は、ご本尊さま
と檀信徒の皆さまのご先
祖さまに対するお供え料
(線香、ろうそく、花、
仏飯、供物等)として使
用させていただいており
ます。 2千円/年

ご納入について

- 時期 毎年12月頃
- 納入方法 ① 世話人さまに
お渡しする

※世話人さま不在地区

- ② お寺に持参
- ③ 現金書留
- ④ 振込
- 金額 1万円

(護持会初穂の合計)

護持会会計報告

毎年、西光寺役員総会
(総代・世話人会)にお
いて会計報告を行ってお
ります。

護持会会計に関する疑
問等がございましたら、
地域の世話人さまへお問
い合わせいただくか、世
話人さまがおられない場
合、直接西光寺までお尋
ねいただきますようお願い
いたします。

皆さまのご理解とご協
力に、心より感謝申しあ
げます。

西光寺護持会



④振込先

- 阿波町農業協同組合 本所
- ・金融機関店舗番号 8296-101
- ・貯金種目 普通預金
- ・受取人 宗教法人西光寺
- ・口座番号 3993798

※阿波町農業協同組合が統廃合され
金融機関店舗番号が変更となりました
旧8296-104 ⇒ 新8296-101
口座番号に変更はありません

仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事

ぶつだんのもり

お問い合わせ、ご注文は
☎(0883)36-1115

〒776-0001 吉野川市鴨島町
牛島字四ツ屋90-1 (かもじま店)



メガネ・補聴器・宝石・時計

ジュエリー サトウ

あなたの快適ライフを応援します。

阿波町大原11-1

☎(0883)35-2306



料理

魚安

営業日/ 月～土曜日
定休日/ 日曜日
営業時間/ 夜.17:00～

阿波町庚申原121

☎(0883)35-7260

各宗派葬儀・御法要・花環・簗盛等

セレモニーはやし

阿波町丸山3-2

☎ (0883)35-2073
FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)


市場町山野上字大西181-1

☎ (0883)36-7111
FAX (0883) 36-7035

第66回徳島駅伝

阿波市チームに温かい応援を
賜わりありがとうございます。

お陰さまで10/16位でした。
今回1けた順位を目指します!
1月5日阿波市を通過します。
沿道で応援をお願いします!




ロープウェイでらくらく参拝

四国八十八カ所21番 四国八十八カ所66番

太龍寺 雲辺寺
こんぴら奥の院 四国八十八カ所85番
箸蔵寺 八栗寺



編集後記

6月、先師墓の寄せ墓(当院南300m)が無事に終わりました。黒ずみ木くずがこぼれるお位牌、古苔びつしりの墓石、解読困難な文字、過去帳と格闘しながら先師さまのご遺徳を偲びました。現本堂が再興された一六五七年から少なくとも33人の和尚さまが当院で修行されてきました。いま此処に在る有り難さを実感すると共に、念願が叶いましたこと、本当に感謝です。



高野山の法話

提供：高野山真言宗 参与会

詳細はこちら

Q 高野山の法話 Youtube



寺だより紫雲閣について

お寺と檀信徒の皆さまを結ぶお寺だよりです。ご本尊のお徳とお大師さまのみ教えに触れていただきたく、住職が心を込めて手作りしております。

後継者の方が遠方におられる場合、2通目の郵送もさせていただきます。ご希望の方は、住職までお気軽にお知らせくださいませ。